

2018年8月作成

JCCLS CRM-001d 膵型 α -アミラーゼ(P-AMY)参考値

P-AMY活性測定は、抗S-AMY抗体添加 JCCLS α -アミラーゼ(AMY)の標準操作法(SOP)によった。本法は、AMY用のJCCLSによる酵素活性測定の標準操作法(SOP)のR-1に、抗S-AMY抗体を添加した系である。(文献参照)

【P-AMY 参考値】

本ロット(JCCLS CRM-001d)の参考値は下記の通りである。

項目名	参考値(U/L)	拡張不確かさ(U/L)*	測定温度(℃)
P-AMY	154	5	37℃

* 不確かさの成分は、均質性と実験誤差成分、校正に用いた標準物質の不確かさ、および安定性を含む総合的な拡張不確かさ(包含係数 $k=2$)として示した。

AMYについては、アイソエンザイムとしてP型とS型を含有する。さらに本品に添加されているAMYは、起源およびP/S比の関係で、その反応性がヒトAMYと比較して、基質によっては $\pm 5\%$ 以上の差を生じることがある。この場合は、補正して用いても良い。但し、使用にあたっては、原則として当該メーカーの指示に従う。

【文献】

- 1) 野村 博、高橋深知代、亀井幸子. 4,6-エチリデン-パラニトロフェニル- α -D-マルトヘプタオシドを基質とした「リキテックAMY EPS」および「リキテックP-AMY EPS」の基礎的検討. 臨床検査機器試薬 1996; 19: 27-36
- 2) 雲類鷺雄一、野中百合子、吉海 毅、白井秀明、飯塚儀明、中島正雄、桑 克彦: P-AMY 活性測定の比較. 桑 克彦編 第15回筑波臨床化学セミナー、筑波臨床化学セミナー: 2000-15; 72-115
- 3) G.Schumann, et al. IFCC primary reference procedures for the measurement of catalytic activity concentrations of enzymes at 37°C: Part 8. Reference procedure for the measurement of catalytic concentration of α -amylase. Clin Chem Lab Med 2006; 44(9): 1146-1155
- 4) JCCLS認証委員会標準物質小委員会WG: 酵素標準物質(ERM) Lot 004の設定概要. 日本臨床検査標準協議会会誌 2004; 19: 1-52
- 5) 雲類鷺雄一、白井秀明、斉藤友幸、飯塚儀明、桑 克彦. IFCC-SOP法案による α -AMY活性測定とP-AMY活性測定の自動化法案の組み立てとその検証. 日本臨床検査自動化学会会誌 2002; 27: 16-21

【発行】 JCCLS 特定非営利活動法人 日本臨床検査標準協議会
〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目-7番-13号 山手ビル3号館 6階